

2025年  
4月1日  
第494号



# JR東海労



〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-6-5  
Tel 03-3201-0350 FAX 3201-0351  
Eメール jrtoukairou@yahoo.co.jp

JR東海労働組合  
発行人 淵上 利和  
編集人 高山 浩

http://jrtoukairou.sakura.ne.jp/



第38回定期中央委員会より

## ペテンに満ちた回答に抗議！ 大いに不満を表明し、交渉集約 2025春闘

JR東海労は、2025年度賃金引き上げ、夏季手当及び諸要求について、ベア18,000円、定期昇給6,000円(1,500円×乗数4)及び基準昇給額の通減撤廃、夏季手当3.5ヶ月プラス10万円、更に専任社員はプラス5万円などを柱に、精力的に闘ってきました。2月20日の第1回団体交渉から再申し入れを含め、7回の団体交渉を行いました。

社員の切実な要求である基本給や手当などの賃金引き上げについて、JR東海労は要求の根拠を丁寧に説明してきました。しかし会社は、賃金を抑えようとする言い訳に終始し、全ての項目において対立しました。3月11日の第6回団体交渉で、会社から回答が示されましたが、他の企業と比較してもかなりの低額の上、一時金までも賃上げと回答したため、激しく抗議しました。

3月17日、再申し入れとなる第7回団体交渉においても、会社の態度は変わることがありませんでした。本部は持ち回り執行委員会を開催し、他労組が早期妥結する中、これ以上の進展はないと判断、会社に不満を表明し、3月24日に交渉を集約しました。

以下、第4回団体交渉以降の主な経過です。

### 第4回団交(2月28日)

祝日手当、出向社員・専任社員の労働条件、リニア建設、要員問題などについて議論しました。祝日手当・繁忙期手当の復活・新設について、組合は「年間10万円の減収となった。祝日の特殊性を考慮せよ。繁忙期は社員は大変な業務を担っている」などと主張しました。

出向社員の労働条件などについて、組合は「社籍がJR東海である。本体と賃金・労働条件に差を付けるな。希望をしない出向者は理不尽な扱いを受けている」などと主張しました。

専任社員の労働条件などについて、組合は「賃金が半分以下で、労働条件は現職と同じであることは大きな差別だ。労働時間を短縮するか、休日を増やすのは当たり前だ。一流企業を名乗るJR東海が、国の補助金を当てにするなど、世間から見れば常識的ではない」などと主張しました。

リニア建設について、組合は「財投の残金は1兆円になった。2027年以降に工事が完了する工区は18箇所にも及ぶ。開通見通しができないようでは経営破綻は確実だ。今すぐ建設を中止せよ」と主張しました。会社は、全ての項目について否定的な回答に終始し、対立しました。

### 第5回団交(3月4日)

ベア、定期昇給、手当などについて再度議論しました。組合は「要求の満額を出せる条件は十分ある。調整手当をベアの回答として一緒に出すな。あくまでも手当である。都市手当の要素から付けた手当であるにもかかわらず、なぜ東京と地方が同じなのか。物価、特に住宅賃貸料は突出している。特殊な勤務体系であることから、祝日手当や食事手当は付けるべき。扶養手当は子ども手当を増やしているから良いだろうという理屈はおかしい」などと主張しました。

会社は「手当は、令和2年度に改訂したので、これを変える考えはない。今回の手当改正では、会社は社員が意欲をもって将来にわたって働いてもらうために、原資の再配分を行い、相当持ち出ししている」などと回答し、対立しました。

第6回団交(3月11日) 会社から下表の通り回答がありました。

組合は回答に対し、こんな低額では話にならないし、検討にも値しないとして、団交席上で再申し入れを行いました。

### 第7回団交(3月17日)

組合は「ベアはJR東日本で1万3,000円超、JR西日本で1万2,

200円である。純利益は、JR東日本はJR東海の約半分強、JR西日本は3分の1以下だ。JRトップの純利益を計上している。賃金抑制もはなはだしい。ベアを抑制する理由はない。他の民間企業でも、軒並み1万5,000円前後のベアを出している。全社員を対象としない調整手当増額分と「育児・介護・治療・転勤等に係る制度の見直し」で、社員平均1,900円を含めた金額までも賃上げとして回答したが、これは全社員が受け取れる手当ではない。賃上げとは、退職するま

で受け取れる賃金のことだ。一時金までも賃上げ回答に入れることは、ペテンだ。抗議する。社員からは詐欺との意見も出ている。出し渋りの要因は、リニアの他にも何かあるのか。要求通り、満額回答せよ」と主張しました。

## 会社回答

### 1. 新賃金

- (1) 定期昇給の標準乗数は4とする。
  - (2) 35歳ポイントの基本給を8,000円引き上げる。
  - (3) 日直・宿直手当を以下のとおり引き上げる。  
日直手当：5時間を超える場合700円、5時間以内の場合400円  
宿直手当：8時間を超える場合700円、8時間以内の場合400円
- ※ (1)(2)及び調整手当(B級地)引上げにより、35歳ポイントで基準内賃金は17,000円(5.0%)引上げ、その他の「育児・介護・治療・転勤等に係る制度の見直し」における賃金改善原資(社員平均1,900円)を含めて18,900円(5.5%)の賃金改善

### 2. 夏季手当

- (1) 支給月数3.05箇月分とする。
- (2) 支給日は6月30日以降準備でき次第とする。

# ベアの格差配分はやめ全社員一律にせよ!

## ベア配分第1回団交

JR東海労は3月26日、2025年賃金引き上げに伴う配分交渉の第1回団体交渉を開催しました。JR東海労は、基本給引き上げ分の8,000円は、専任社員を含む全組合員一律に、全てを基本給に配分することを要求しました。

組合は「ベアは全社員が平等に受け取るべきだ。物価高騰で全社員が苦勞している。等級に限

# 新幹線に鉄板直撃、あわや大惨事

## 新幹線地本が申し入れ

3月15日、東海道新幹線豊橋〜三河安城駅間走行中の、「のぞみ317号」の16号車の窓ガラスにひび割れが発生しました。原因は、豊橋〜三河安城駅間にある坂野坂トンネル内の信号・通信ケーブル管路の蓋(鉄板)が外れて飛び、新幹線の窓ガラスに当たったものと推定されています。

この飛散した管路の蓋は、厚さ3mm、重量約4kgもある鉄板で、大惨事に至る可能性もありました。新幹線地本は原因究明と恒久的な対策の実施を求めて会社に団体交渉開

が、一度も要求を受け入れなかったことではない。専任社員は新入社員より低い賃金で、若い世代と同等の仕事させられている」と回答し、対立しました。

# 同意なき出向は違法だ!

## 強制出向裁判不当判決

新幹線関西地本の下茂春美さん、西三喜夫さん、前田稔さんが訴えていた「強制出向裁判」で、大阪高裁は2月28日、不当判決を出しました。

専任社員として雇用されたため、出向には同意していないことなどを主張してきました。しかし、大阪地裁、大阪高裁ともに、被告(JR東海)の主張を全面的に受け入れたのです。

# 天竜林業高校事件・北川さんは無実だ!

## 再審を求め要請行動

静岡地本は3月3日、天竜林業高校事件の支援者団体の呼びかけにより、北川好伸さんの再審開始を求めて、静岡地裁浜松支部と静岡地検浜松支部に要請行動を行いました。

地裁浜松支部には、「北川さんに2度目の賄賂を

ベメモ」の記述は、警察、検察が連携してつくったものであり冤罪事件である。一刻も早い再審を開始すること」と要請しました。

地検浜松支部には、「北川さんの勾留期間中、弁護士との接見妨害や人格



# OB会情報「Active」一新、再スタート

### 現職と共に! OB会は生まれ変わりました!

# Active

アクティブ

No.115  
2025年3月25日  
JR東海労本部OB会  
発行責任者・増田豊重  
編集責任者・井村厚

#### 新たに増田会長・井村事務長を選出し「新生東海労OB会」始動

1月23日、会長と事務長が臨時総会直前に議場から逃げ出すという前代未聞の事態の中で、JR東海労本部OB会は臨時総会を開催し新しい会長・事務長を選出、JR東海労本部もこれを承認して新たな一歩を踏み出した。

JR東海労本部OB会は、昨年JR東海労がJR総連からの脱退、除名を受けて「こんなはずではなかった」「OB会に何の相談もなかった」として、「東海労の方針を支持する」という「会則」を無視して「OB会を解散する」ことを公言し、強引に第23回臨時総会を開催しようとした。しかし、「東海労と共に」の思いを強くする良識的な議員、OB会会員、東海労本部の適切な判断で臨時総会は開催された。

JR東海労のOB会は、現時点ですでに多くの会員が「自分の思い通りにいかない」ことを理由に脱退しており、4地本のOB会はすべて新しい幹事会が発足し新たな活動をスタート開始している。

また、一年半の無策を演じた伊林前事務長は3月7日付で脱会を表明し、JR東海労のOB会から去った。OB会は、改めてJR東海労との強固な一枚岩の団結力を復活させている。

新たに選出された増田新会長は「OB会に最初に混乱を持ち込んだのは福島さんだ。新幹線のOB会は28日に脱退を決めているのだから、そもそも今日の臨時総会に参加する資格はない。この産みの苦しみを、より大きな喜びへの糧となる。取り巻く情勢は厳しいが、現場で苦闘する現役の組合員と共に東海の地で労働者の未来のために微力ながら尽くしたい」とその決意を明らかにした。(福島前会長名で発行した「アクティブNo.115」は幹事会で認められず欠番となっています。)

#### 新しい幹事会

- 会 長 増田 豊重 (静岡)
- 副 会 長 田中 栄六 (新幹線)
- 〃 木下 孝尚 (静岡)
- 〃 林 和文 (名古屋)
- 〃 安東 忠 (関西)
- 事 務 長 井村 厚 (関西)
- 会計監査員 加藤 誠二 (名古屋)

(2月11日第1回幹事会確認)



挨拶する増田豊重OB会新会長

# 悩む前に、お気軽に相談を!

## 「労働者支援相談センター」開設

#### 職場における相談内容

- ★ハラスメント
- ★賃金未払い
- ★不当な解雇や処分
- ★不当な出向や配転など

#### 相談の方法

- ◆メール JR東海労HPより専用のアイコンをクリック
- ◆電話 090-8109-8379
- ※電話受付は平日10:30~14:30

権の侵害に当たるとる暴言や叱責が繰り返され、違法、不当な取り調べの実態がある。元天竜市長のアリバイは、2022年1月

の証拠開示による『取り調べメモ』から判明した。一刻も早い再審開始に向けた三者協議の開催をすること」と要請しました。